

中学書写

内容解説資料



令和7年度

中学校用教科書

教育出版

先生と教育出版で創る 「未来への窓」

私たち教育出版は、子どもたちが、「考えることは楽しい」「考えたことで成長した」「もっと学びたい」と思えるような教科書作りを大切にしています。

これから先の予測困難な未来を生き抜くためには、主体的に考える力がいっそう求められます。自ら考え、自ら学ぶことで喜びを感じる子どもたちと先生がたが、ともに学んでいく「新しい学び」を、教育出版は支え続けます。

「未来への窓」の向こうにある子どもたちの可能性を、私たちと一緒に広げていきませんか。



上のフレームは „先生“、下のフレームは „教育出版“ を表しています。先生と教育出版で、この窓の向こうに広がる新しい世界を子どもたちに見せてあげたい。「未来への窓」には、そのような思いを込めています。

表紙のモチーフについて

二年生で学習する『平家物語』絵本の一部と、高等学校の書道で学習する『高野切古今和歌集』などの「い」「ろ」「は」の文字をモチーフにすることで、古典の世界、中学校の先に広がる豊かな文字文化の世界へと広がります。



いろは

目次

「文字」を知り、「書くこと」を豊かに、身につける

教育出版『中学書写』で身につけたい！「三つの力」

特色1 「書く力」が身につく―すべての学びを支える―

① 書く力の基礎は「姿勢」と「持ち方」

② 行書の筆使いが体感できる

③ 「文字がきわだつ紙面」―確かな文字感覚が身につく―

特色2 「学び方」がわかる―自ら学びたくなる―

① 学習手順の明確化＝主体的な学び

特色3 「活用する力」が育つ―考えて伝える力が身につく―

① 国語の表現力を高める

② 生きてはたらく書写力を身につける

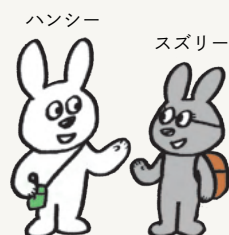
文字文化の担い手として

今日的な課題への対応

「まなびリンク」で学びをパワーアップ

「教師用指導書」充実のラインアップ

指導者用デジタル教材・学習者用デジタル教材



教科書をナビゲートする
キャラクター

4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 27

「文字」を知り、

「書くこと」を

豊かに、身につける



今を生きる中学生にとって

「手書きする」とは？

「文字を手書きすること」は、目の前の生徒たちにとって、どんな価値があるのでしょうか。思考するために、学習内容を定着させるために、そして相手に情報や思いを伝えるために。「書く技能」を身につけ、「書くこと」「文字」について考えたいくなる教科書をめざしました。

学びの過程では、自分の課題について考え、解決方法を見通し、仲間と対話しながら、書写の授業で学んだことを、ふだんの書く活動に生かしていく。そんな豊かな学びを促し、支援する教科書です。





「三つの力」

教育出版の『中学書写』は、自ら考え、仲間と伝え合い、
生きてはたらく力を育むために、身につけたい！「三つの力」を柱に構成しています。

特色

2

「学び方」がわかる

—自ら学びたくなる—

学習過程を明確にすることで、生徒が自ら考え、主体的に学ぶ力が身につきます。

p.14・15へ

主体的に学習に
取り組む態度

東京学芸大学教授
加藤泰弘 先生



(p.118)



体幹を意識するために、「腰を起す」ことがポイントです。(1年 p.8)



腰を起し、背筋を軽く伸ばす。

基本的姿勢

椅子と背中の間を少しあける。

よい姿勢と持ち方ができると、
長時間書いても疲れにくくなり、
よい学習習慣が身につきます。



作業療法士
笹田哲先生

特色

1

「書く力」が身につく

—すべての学びを支える—

「よい姿勢・筆記具の持ち方」「点画の筆使い」「行書の基本的な書き方」などの
基礎・基本を確実に習得できます。

p.8・9へ

知識・技能

教育出版『中学書写』で

身につけたい！

特 色

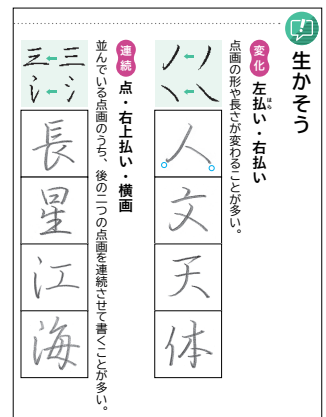
3 「活用する力」が育つ

— 考えて伝える力が身につく —

各教科で扱う言語活動や社会で役立つ書式を豊富に掲載することで、
学習活動や日常生活で活用できる力を育みます。



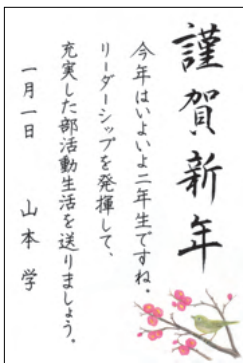
(p.10)



毛筆で学んだことを、
他の硬筆文字で応用します。
(1年 p.45)



学習したことを生かして書きたく
なるような作例を掲載しています。
(教科書 p.39)



東京学芸大学名誉教授
ながの ひであき
長野秀章 先生



文字文化について考えるコラム
は、「伝統」と「今」を捉えて教
材化しています。

p.16・17へ

思考力・
判断力・
表現力等

文字を書く原理・原則を見つける
力が、他の文字に出会ったときに
解決方法を見つける力になります。



1 書く力の基礎は「姿勢」と「持ち方」

● 体幹を整えて、学びの姿勢へ

よい姿勢をとるための要所となる「体幹」に着目し、背筋を伸ばすこと、腰を起こすことを習慣化できるようにしました。

姿勢と用具の使い方

よい姿勢と筆記具のよい持ち方は、しっかりと身につけましょう。

基本の姿勢

腰を起こし、背筋を軽く伸ばす。

椅子と背中の間を少しあける。

肘を上げる。

●懸腕法
腕を机につけず、宙に浮かして書く方法。

机と体の間を少しあける。

両足を床につけて、少し開く。



振り返ろう 確かめよう、□の中に✓チェックをしよう。

- 腰を起こし、背筋が伸びているか。
- 背中と椅子、机と体の間が、少しあいているか。
- 肘が机についていないか（大筆）。
- 両足が床についているか。

姿勢と用具の使い方 (p.8)



作業療法士

笹田哲 先生のコメント

中学生は、発達段階として、身長、体重などの変化が大きくなる時期です。よくない姿勢で書くと、運筆の調整力・視力・呼吸の低下、体の歪みにつながり、心身に悪影響をもたらします。よい姿勢、疲れない持ち方にも目を向けて、書く力を伸ばしていくことが大切です。

プロフィール

神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科教授、同学科長
日本発達系作業療法学会理事

NEW

● 左利きの生徒への対応

① 用具の置き方

左利きの生徒にとって書きやすい用具の置き方を掲載。

左手で筆を持つ人は、用具を左右逆に置く場合もある。



まなびリンク

教科書と同じ、左利き用の図版を掲示資料として収録。

多彩な筆記具で、書く楽しさを！

中学生が日常の学習活動で使う多くの筆記具や、誕生日カードなどで活用する筆ペン、サインペンのほか、万年筆やガラスペンなどの将来使ってみたい筆記具を紹介。場面に応じて筆記具を使い分ける楽しさを実感できます。

知りたい！

さまざまな筆記具

私たちの身のまわりにある
さまざまな筆記具を見てみましょう。

中学生になったら、
もっと工夫して、
わかりやすいノートに
したいね。

誕生日カード

暑中見舞い

それぞれの
書き方を動画で
視聴できるよ。

万年筆

ガラスペン

ノート

さまざまな筆記具

筆記具を使い分けて、
楽しく、効果的に書こう。

万年筆や
ガラスペンなど、
すてきな筆記具だね。
いつか使ってみたいな。

知りたい！ さまざまな筆記具 (p.5)

NEW

まなび
リンク

さまざまな筆記具で書いている
様子の動画を収録。

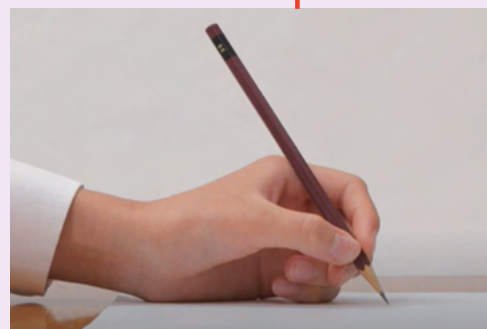


ここから
視聴できます。



② 鉛筆の持ち方動画

右利き、左利きともに、よい
鉛筆の持ち方を動画で収録。



2

行書の筆使いが体感できる

行書の特徴である、やわらかく、連続した筆使いが理解できるように、朱墨の図版をワイドな紙面で掲載。
第一教材『大洋』につながる筆使いを体感できます。

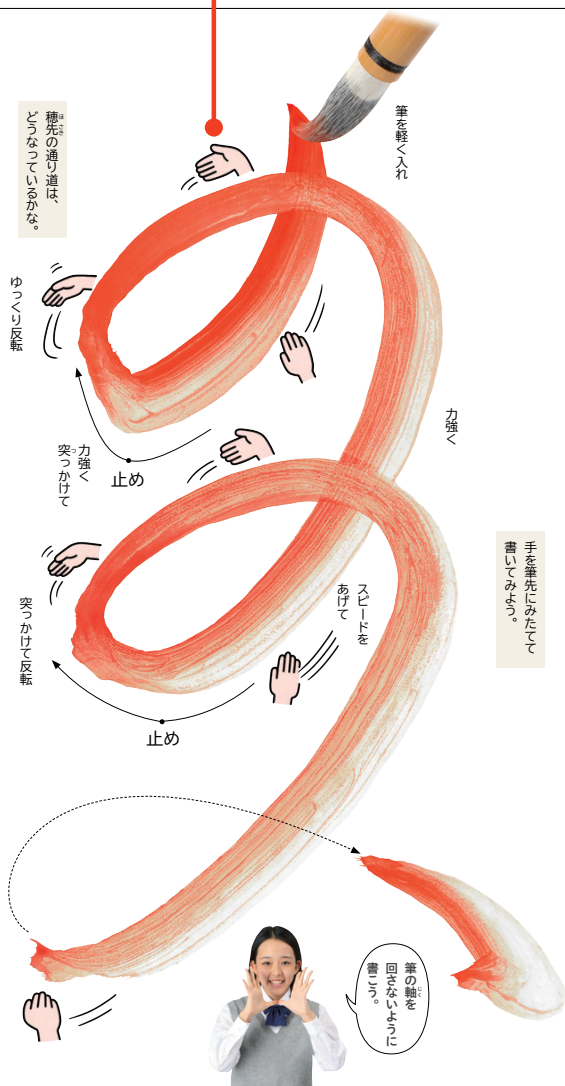
1年生

3 行書の筆使い「大」

◆はじめに、筆の動きを確かめよう。



手のひらを筆に見立てたウォーミングアップを提案しています。



42

◆次に、「大」を書き、行書の筆使いを体験してみよう。

右ページの練習を生かして

小学校との円滑な接続

小学校学習指導要領で求められている「適切に運筆する能力」について、中学校では明快な筆使いの図版と丁寧な導入で接続を図り、さらに高めていきます。

学習指導要領での扱い

小学校 第1・2学年

点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。

※学習指導要領解説には「水書用筆等」を例示。

第3・4学年

毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。

●ハイブリッドな書写学習 —紙とデジタルの両輪で深める—

「まなびリンク」⇒詳細は p.24

教科書の二次元コードから、全教材分＋補充教材の運筆動画が活用できます。



全体像（真上から）

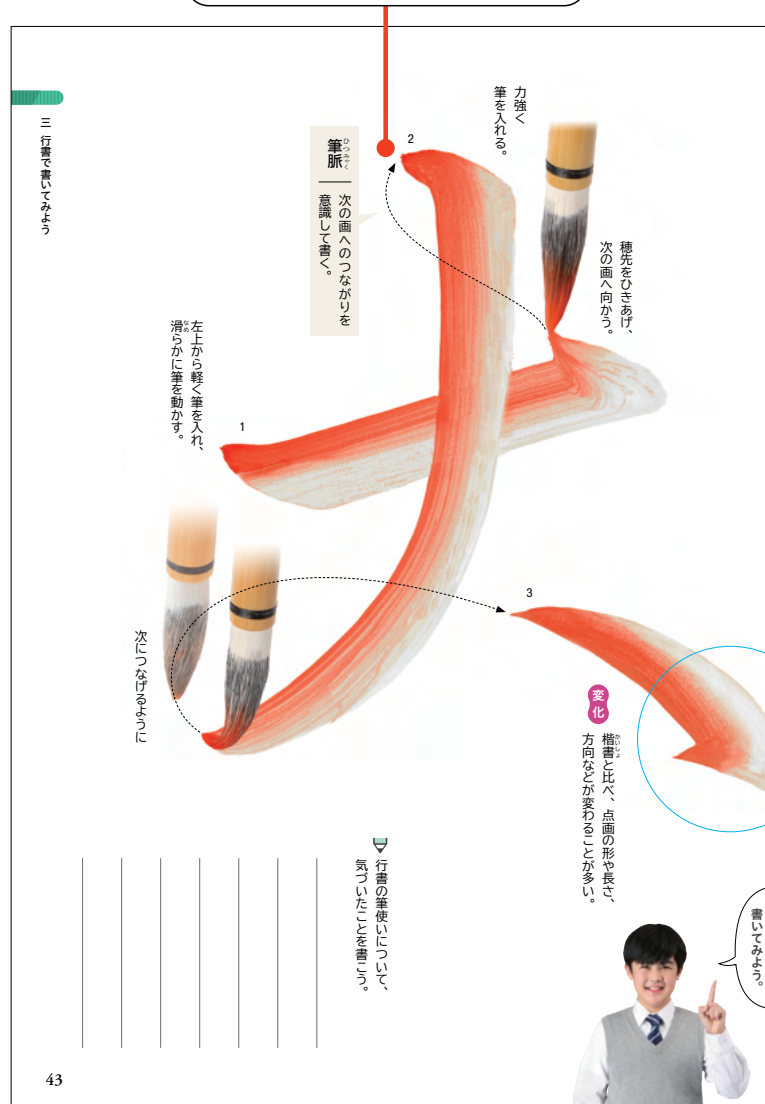
「指導者用デジタル教材」 「学習者用デジタル教材」

穂先の通り道を薄墨で示した運筆動画で、筆使いの要所をよりいっそう理解できます。



穂先の動き（斜めから）

行書ならではの筆使いの定着を図るため、穂先の通り道を朱墨で大きく明快に示しました。



行書の筆使い「大」（1年 p.42・43）

第5・6学年

毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。

中学校 第1学年

漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。

行書の基礎的な書き方

=

行書ならではの筆使いの習得

右ページで

教材文字をじっくり観察。
半紙形のイメージを大切にできます。



行書第1教材には
中心線を入れて、
わかりやすく。

大 洋

1年生

4

点画の連続と変化 1 「大洋」



44

中心点は全ての
教材に入っています。

単元名と目標は
半紙形の外側へ。

半紙形を維持した紙面によって、書き始めの位置や字形の整え方、
文字の大きさと余白のとり方などが、より実感できます。

3

「文字がきわだつ紙面」

— 確かな文字感覚が身につく —

特色1 「書く力」が身につく—すべての学びを支える—

知識・技能



左ページで

ポイントを確認。

詳しい解説により理解が深まります。

授業のはじめに「試し書き」で自分の課題に気づきます。

穂先の通り道は朱墨で示しています。行書の筆脈を点線で示しており、わかりやすい図版です。

授業の終わりに「まとめ書き」で振り返り、「書く力」を身につけます。



毛筆紙面右下の二次元コードより、真上から撮影した毛筆の連筆動画が視聴できます。

目標 点画の連続と形の変化を理解して書く。

試し書き 最初に楷書で書いて字形を確認しよう。行書で書いてみよう。

考えよう

- 点画が連続し、筆脈が表れているのは、どの部分だろうか。
- 楷書に比べて、点画の形は、どのように変化しているだろうか。

「大」の変化

筆脈は、次の画へ向かう小さな「はね」の形で表れます。

だんだんと筆圧を加え、止める。

「洋」の連続

止めてから次の点画につなげるように運ぶ。

変化 止め

連続 払う。

まとめ書きと応用

「大」のつくり字熟語を、行書で書いてみよう。

振り返ろう ○いできた △いもう少し

点画の連続を理解して書けたか。

点画の形の变化を理解して書けたか。

生かそう

変化 左払い・右払い

点画の形や長さが変わることが多い。

連続 点・右上払い・横画

並んでいる点画のうち、後の二つの点画を連続させて書くことが多い。

行書には、さまざまに書き方がある。

並んだ二つの点画では、「三」三画めを連続させて書くこと、字形が整う。

大(大・大)

三(三・三)

長(長・長)

星(星・星)

江(江・江)

海(海・海)

人(人・人)

文(文・文)

天(天・天)

体(体・体)

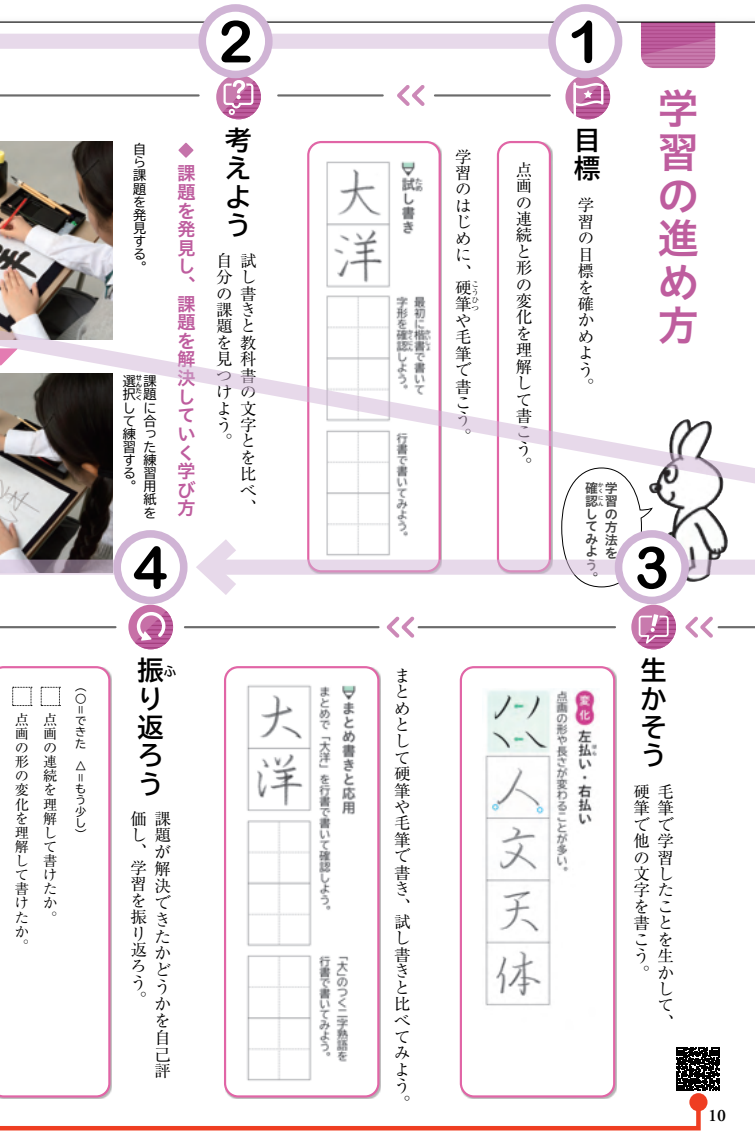
点画の連続と変化 1
「大洋」(1年 p.44・45)

「大洋」で学習した行書の特徴を他字へ応用することができます。

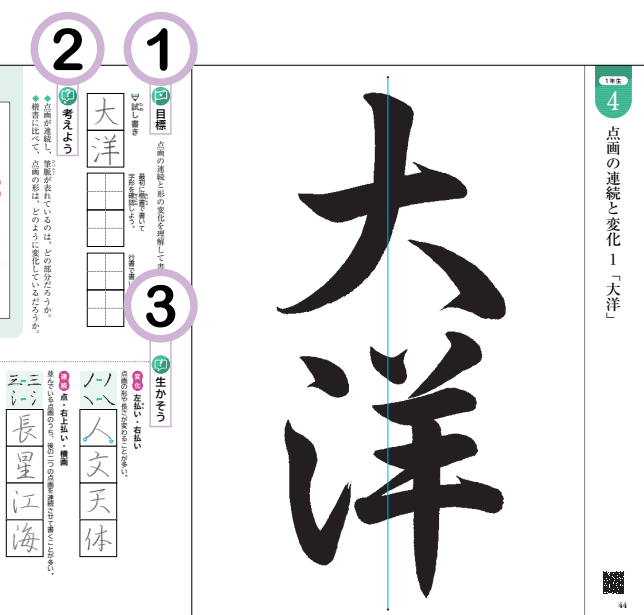
1 学習手順の明確化Ⅱ主体的な学び

- ・毎時間の学習の進め方が確実に理解でき、基礎・基本の定着を図ることができます。
- ・主教材の学習から他字への応用、日常化までの流れをつかむことができ、「深い学び」につながります。

学習手順が毛筆教材紙面と連動



学習の進め方 (1年 p.10・11)



点画の連続と変化 1 「大」 (1年 p.44・45)

「学習の進め方」と、
毛筆基本紙面の連動が明快で、
毎時間の学習の進め方が
身につきます。

- 1 目標
- 2 考えよう
- 3 生かそう
- 4 振り返ろう
- 5 学習や日常生活に生かそう



◆話し合い活動をおとした学び方
まともな書きについて
意見を交換しよう

◆話し合いのポイント
点画の書き方
字形が整っているか
中心がそろっているか
紙面に対するまともな
書き方

◆話し合いの活動
筆使いを見て
意見を交換しよう
筆先の動きは
どうなっているか
空中での筆の動きはどうか

話し合いには書写の
学習用語を使う

話し合いの活動
筆使いを見て
意見を交換しよう
筆先の動きは
どうなっているか
空中での筆の動きはどうか



5

学習や日常生活に生かそう

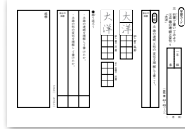


◆学習用端末の例



試し書き・まとめ書きをカメラ撮影して記録する。

◆学習カードの例



学習カードに書き込んだり、書いた文字を拡大したりして発表し合う。

11

NEW

まなびリンク

「学習の進め方」が動画でわかる！

教科書で示されている 1 時間の授業展開をショート動画で理解できます。授業の流れがよくわかり、さらに他教科の学習や日常生活に生かす過程もわかります。



学習の進め方

次ページ

5 学習を生かして書く。



書写用語で伝え合うⅡ対話的な学び

話し合うポイントや学習用語を提示することで、話し合い活動の活性化を促します。

他字への応用・転移Ⅱ深い学び

「硬毛関連」

毛筆で学習した行書の書き方を、硬筆の他字に転移できる教材が豊富に例示されており、日常化を図ることができます。

特色3 「活用する力」が育つー考えて伝える力が身につくー

思考力・判断力・表現力等

1

国語の表現力を高める

国語力の基礎を養うこと、書写で身につけた力を言語活動で生かすことを、最も大切に行っています。国語力育成のために、「文を書くこと」「言語活動での活用」「文字文化」の観点で教材化しています。

「書いて味わう」↓学習内容の定着を図る

国語で扱う古典や文学作品を書写で視写することで、内容をより深く味わうとともに、豊かな言語感覚を養います。

「書くこと」「読むこと」との関連

国語の言語活動との連携に配慮した教材を掲載。国語と書写を連携させた指導計画が立てやすく、ふだんの授業に生かれます。

古典・文学

『竹取物語』の美しい絵巻物で、古典の世界へといざないます。

1年生 2 学習を生かして書くー配列ー

①目標 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

中心
今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。
野山にまじりて竹を取りつつ、よろづの
ことに使ひけり。名をば、さぬきの造
となむいひける。
その竹の中に、もと光る竹なむ一筋
ありける。

②考えよう どうぞと楷書と仮名を調和させることができたか、考えたことを左の欄に書いてみよう。

中心
今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。
野山にまじりて竹を取りつつ、よろづの
ことに使ひけり。名をば、さぬきの造
となむいひける。
その竹の中に、もと光る竹なむ一筋
ありける。

③ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

④ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

⑤ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

⑥ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

⑦ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

⑧ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

⑨ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

⑩ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

⑪ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

⑫ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

⑬ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

⑭ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

⑮ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

⑯ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

⑰ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

⑱ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

⑲ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

⑳ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㉑ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㉒ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㉓ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㉔ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㉕ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㉖ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㉗ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㉘ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㉙ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㉚ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㉛ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㉜ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㉝ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㉞ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㉟ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㊱ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㊲ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㊳ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㊴ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㊵ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㊶ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㊷ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㊸ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㊹ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㊺ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㊻ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㊼ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㊽ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㊾ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

㊿ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書く。
声に出して読んだあとに、硬筆で『竹取物語』の冒頭をなぞってみよう。

30

学習を生かして書くー配列ー (1年p.30・31)

言語活動

本と離れたところに置かれる場合もあるので、書名と作者名も書く。

舟を編む 三浦しをん
辞書編集部に引き抜かれた「鳥」が、さまざまな言葉と格闘しながら、辞書を作る物語。
あなたなら、「鳥」をどう説明しますか？
その答えを探してみてください。

引き抜く
サインペン
ボールペン

紙の形は縦長、横長など、タイトルに合った形を工夫する。

お薦めの本の帯やポップを作る (1年p.34)

「調べやすい」「応用しやすい」

小学校で学習した一〇二六字と、中学校で学習する一一〇字の漢字を、楷書・行書の手書き硬筆文字で掲載。「きへん」「さんずい」など、似た部分による分類で配列しており、学習したことを応用できます。

活用しやすい！「巻末漢字表」

50音順の索引で検索したい場合は、教科書の二次元コードにリストを掲載しています。

行書の活用力

ここで活用できる！

主教材で学習したことを生かして、他の文字を行書で書くときに、似た部分の文字を参照できます。

自分の名前を行書で書くときにも活用できるね。



「大」のつく二字熟語を行書で書いてみよう。

O		N	
① 搾	搾	才	才
② 拶	拶		
③ 撮	撮	挨	挨
④ 擦	擦	握	握
⑤ 抄	抄	扱	扱
⑥ 拭	拭	援	援
⑦ 振	振	押	押
⑧ 据	据	拐	拐
⑨ 拙	拙	掛	掛
⑩ 撰	撰	括	括
⑪ 世	世	協	協

中学校で学習する漢字一覧表

◆ 本表の分類項目の配列順

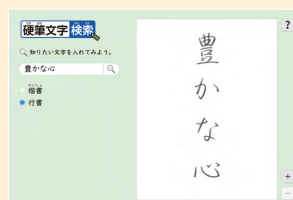
才 木 艸 禾 米 土 王 子 寸 サ ロ ロ 言 日 目
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱
犛 方 一 立 一 一 竹 女 女 小 巾 車 舟 火 人 大 又 之 卩
② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

中学校で学習する漢字一覧表 (p.127)

デジタル教材

力強い味方！ 「硬筆文字検索」

教科書掲載の楷書・行書の硬筆文字を検索できます。(→本書 p.27 ご参照)

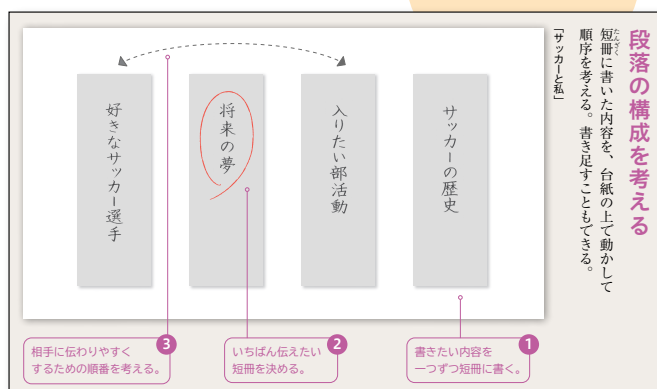


デジタル教材

「思考ツール」はデジタル教材に収録場面に応じて手書きとICTの使い分けが可能です。



思考×書写



書写で身につけた力を、学習活動で活用しよう (p.119)

書きながら、考える

話し合い活動や文章をまとめる活動などで用いる「情報を整理する方法」を紹介。書くことによって思考を整理する方法を知ります。

特色3 「活用する力」が育つー考えて伝える力が身につくー

思考力・判断力・表現力等

2 生きてはたらく書写力を身につける

各教科の学びに生きる

各教科の書く活動と連動しています。国語をはじめとして、社会、理科など、各教科バランスよく教材化することで、**カリキュラム・マネジメント**にも対応しています。

理科

同じ内容の項目は、書き出しの位置をそろえる。

本文

2 植物の観察をして、レポートにまとめる。

校庭の植物の観察
2025年5月12日 晴れ
1年1組3番 井上 勇太

1 目的
植物は、生えている場所によって種類が異なる。場所と植物の種類が、どのように関連しているのか、学校の日あたり・湿り気を調べることにした。

2 準備
・植物図鑑 ・虫眼鏡 ・メモ帳
・校庭の見取り図 ・筆記用具 ・タブレット

3 方法
(1) 校庭を歩き どこにどのような植物が見られるか地図に記入する。
(2) 見つけた植物をタブレットで撮影する。
(3) 植物の周辺の様子についてメモを取る。
ア 日なたか日陰か
イ 湿った場所か乾いた場所か

ページ数が多くなるときは、ページ番号を入れる。

行頭の位置の取り方

3 方法
(1) 校庭を歩き、
地図に記入す
(3) 植物の周辺
ア 日なたか

行の下線をあてて書く方法
見つけた植物

行の中心にそろえて書く方法
見つけた植物

学習を生かして書くー配列ー (1年 p.33)

レポート
書写では、より伝わりやすい書き方のコツを解説することで連携を図る。

ノート
内容を整理してまとめることで、理解しやすく、覚えやすいノートになる。

社会

学習課題はわかりやすいように囲む。

学習日 6月10日

学習課題 古代中国では、どのような文明があり、どう変化していったのだろう。

中国文明
・黄河や長江の流域で農耕が始まる。
・紀元前17世紀頃(殷)が興るー青銅器の文化
・世界文字の使用

秦の始皇帝
初め「皇帝」を名づける。皇帝は、王より大きな権力を示す始皇帝がつくり出した称号。

漢の武帝
漢(はかり)を建て、漢の次に中国を支配。

シルクロード(絹の道)
漢とローマをつなぐ、ユーラシアを横断する交易路。

まとめ
中国文明は、大河流域に興ったことや、金属器や文字の使用などが他の文明と共通している。その後、秦や漢が中国を統一し、特に漢は周辺の国々にも大きな影響を及ぼした。漢とローマ帝国をつなぐシルクロードは、東西の文化交流の役割を果たした。

筆記具の特徴を生かす

学習内容を効果的にノートに書こう (1年 p.15)

関連箇所

p.14・15、p.31・32、p.32・33、p.82・83、p.84・85、p.86・87、p.100～103、p.104～107、p.118～120

【内容例】

目的に合わせた書き方、メモ(関連づけ、分類)、さまざまな書く場面、新聞、メッセージカード、案内文 など

文字文化の担い手として

身のまわりで見られる書や、先人の書の味わい深さを実感できるコラム、地域のシンボルである城跡写真のコラムなど、多角的な視点での文字資料を掲載しています。



あの人が残した文字

日本の歴史上の人物は、どのような文字を書いていたのでしょうか。

新紙幣に登場する人物から、国語の授業で学習する人物まで、歴史上の人物の文字を幅広く取材。



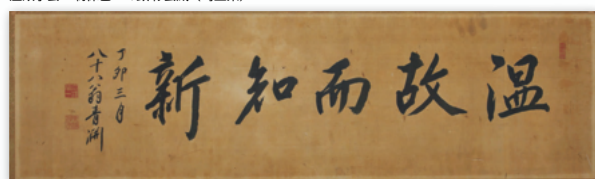
大徳寺喜珠庵蔵（京都府）



一休宗純
室町時代
（一三九四～一四八二）
京都に生まれた臨済宗の僧侶。「一休さん」と知られる。

豪快に書かれた一休の代表作。「諸悪をばなれ 衆善奉行」は、「悪をなすず、多くの善を行い、自らの心を浄めること。」という意味。

温故学会 堀保己一の顕彰会蔵（埼玉県）



「温故而知新」は、古いものをたずね求めて新しい事柄を知るという意味。88歳の時に書かれた。

渋沢栄一
（江戸）明治・大正時代
（一八四〇～一九一三）
埼玉に生まれた。日本経済の礎をつくった実業家。



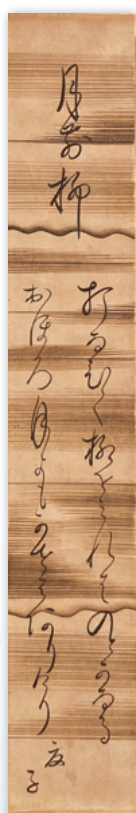
NEW

樋口一葉
明治時代
（一八七二～一八九六）
東京に生まれた小説家。代表作に『たけくらべ』。



台東区立一葉記念館蔵（東京都）

「月前柳」は、1887年に開かれた歌会で、最高点をとった作品。



52

あの人が残した文字（1年 p.52・53）

教科書の対応ページ

1年

p.24～25「筆墨硯紙について知ろう」
p.36～37「文字の変遷」
p.38 「1 行書学習のはじめに」
p.52～53「あの人が残した文字」
p.54～56「活字について知ろう」

2年

p.61～64「『書くこと』の変遷」
p.88～89「日本建築と『書』」
p.79 「短冊と色紙」
p.94 「書の古典の鑑賞」

3年

p.100～103「1 多様な表現による文字」
裏表紙 芸術としての書道

過去から現代にいたる手書き文化について扱った「書くこと」の変遷。
図版が豊富でビジュアルに楽しめます。

NEW



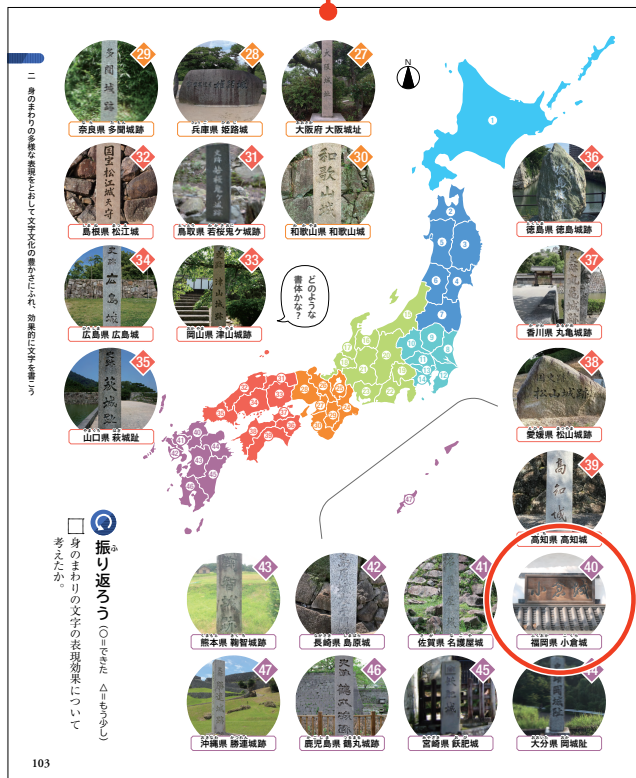
「書くこと」の変遷（1年p.61-64）

各都道府県の城跡を掲載し、郷土の文字文化への興味・関心を高められる教材。

まなびリンク

NEW

p.102 の二次元コードより各地域の城跡を拡大表示できます。



ここからアクセスできます。

多様な表現による文字（3年p.102・103）

今日的な教育課題への対応

ESD・SDGsへの取り組み

現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、生徒一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫しています。（p.56、p.78、p.104～105など）



伝統的な文字文化、

多様性への理解

毛筆文字文化が海外で発生したことを知り、古代から現在に至るまでの「書くこと」の変遷を扱うコラムによって、文字文化の系譜を知り、我が国の文化を尊重し、国際的な視点から文字文化を捉えることができます。（p.61～64など）



「書くこと」の変遷（p.61～64）

小・中・高のなめらかな連携

同じ図版を使用「小・中の連携」

小学校と中学校で同じ図版を用いることで、既習事項を確認し、新しい学習を無理なく積み重ねていくことができます。（p.16）

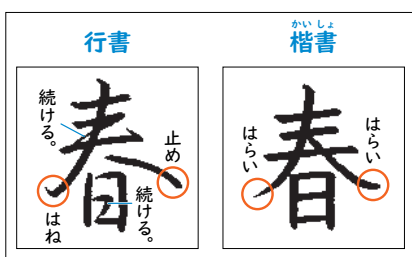
はってん「小・中の連携」

中学校で学習する行書について小学校でも紹介しています。

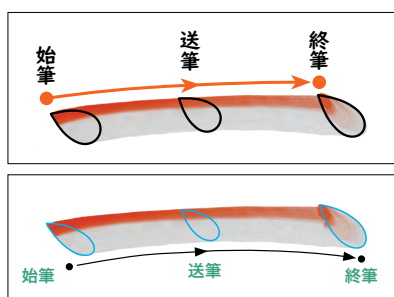
発展「中・高の連携」

三年生では、高校への円滑な接続を図るために「芸術としての書道」を設けています。（裏表紙）

令和6年度版「小学書写」6年p.44



令和6年度版「小学書写」5年p.5

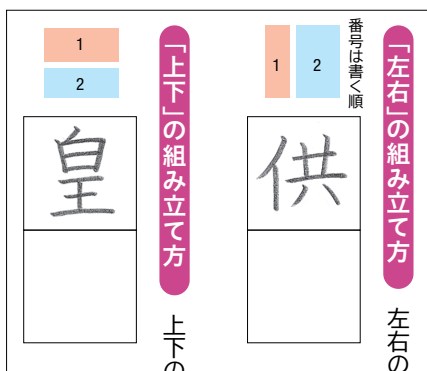


1年p.16

全ての生徒にとっての学びやすさに配慮

カラーユニバーサルデザイン

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウトを工夫しています。
(p.22など全般)



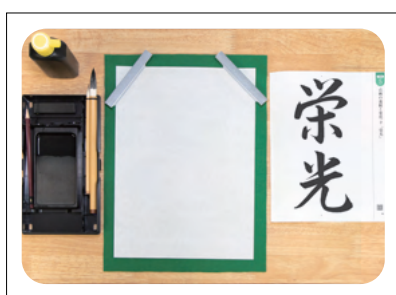
学習を生かして書く一字形、筆順—
(1年 p.22)

人権上の配慮

社会の多様性を踏まえ、イラストや図版、教材の言葉などを含め教科書内の表現に配慮しています。(全般)

左利きの生徒への配慮

左利きで書く場合の毛筆用具の置き方を掲載。さらに、まなびリンクで左利きの持ち方の動画を収録。個別最適な学びに配慮しています。(p.5、p.8)



用具の置き方 (p.8)

特別支援教育、日本語指導を必要とする生徒等への配慮

基本点画の名称と書き方を確認できるページによって、書き方の基礎を習得できます。(p.16～17)

ユニバーサルデザインフォント

書写的な観点から見て、手書き文字と近い形で学習できるユニバーサルデザインフォントを使用しています。(全般)

UDフォントのコラムを掲載

「UDフォント」ってなんだろう？

みなさんは「UDフォント（書体）」という言葉を聞いたことがありますか？
UDフォントの「UD」とはユニバーサルデザインのこと。「文化、年齢、性別、障害の有無や能力の差などを問わず、より多くの人が利用しやすいデザイン」という概念になります。そして、UDフォントは、その概念を受けて「より多くの人に見やすく、読みやすく、間違えにくく、伝わりやすい書体」をコンセプトに作られたフォントのことです。

この「より多くの人に」というのが大切なポイントで、多数派の読みやすさに合わせるという意味ではなく、高齢者や視覚障害者、発達障害者など社会的少数派の読みにくさをも抱える人にも寄り添いながら、多くの人の読みやすさも損わない書体という意味です。

具体的に説明すると、一般的な明朝体は縦線が細く、縦線が太いという特徴があります。また、漢字の横線には三角形の「ウロコ」と呼ばれる部分があり、筆のおさえや「はらい」などの形がデザイン化され、残っている書体です。高齢者は歳とともに目の目の玉の部分が、遠くの物体がぼんやりして、見えにくくなります。細い部分が見えにくさを感じる方が読みやすいように、横線でもっともしっかりと太さを保った「BIZ UD明朝」が開発されました。

一般的に開発された BIZ UD明朝
読み書き 読み書き
BIZ UD明朝
BIZ UD明朝

まなびリンクコンテンツ

教科書

美しい文字

(UDデジタル教科書体)

「UDフォント」とは
「より多くの人が、読みやすい、読みまちがえにくい」となどを重視して設計された書体の総称。この考えのもとでつくられた書体にも、様々な種類がある。



活字について知ろう (p.55)

UDフォントについて、
もっと知りたい！
に応えます。

横画	縦画
はね	右払い
折れ	曲がり
始筆	送筆
終筆	終筆
字形	文字と行の中心
字間	行間
筆圧	など

学習の進め方 (1年 p.11)

紙とデジタルの境界なく学べる



「まなびリンク」で学びをパワーアップ



教科書の二次元コードと連動しており、
授業で役立つ動画や資料を見ることができます。
家庭でもご視聴いただけます。



学び方がわかる！

「まなびリンク」を 活用しよう (p.4)

目的に合ったまなびリンク
の活用法を教科書で丁寧に
解説。

「学習の進め方」(解説動画)

書写学習の流れを、キャラクターと
楽しく理解できます。



国語教材とリンク



国語で扱う原稿用紙の使い方や古典教材
に関する資料にアクセスできます。

個別最適な学びに対応

右利き・左利きの持ち方(動画)

よい鉛筆の持ち方を動画で確認できます。



文字文化へのとびら

ウェブサイトの紹介

筆の作り方の動画や、書の古典教材が
検索できるウェブサイトなどを紹介。



補充教材集

もっと学びたい生徒のために、
主教材以外の動画を収録。

おもなコンテンツをご紹介します。



コンテンツ一覧

動画

- ・ 運筆動画 楷書、行書（毛筆、硬筆）
- ・ 筆使い（基本点画）
- ・ 学習の進め方
- ・ 墨のすり方
- ・ 硬筆の持ち方（右利き、左利き）
- ・ 行書学習のはじめに
- ・ 補充教材集

資料

- ・ 左利きの毛筆用具の置き方
- ・ 国語教材とリンク（竹取物語、枕草子、平家物語、原稿用紙の使い方など）

- ・ 「UD フォント」ってなんだろう？（読み物）
- ・ 漢字表索引

ワークシート

- ・ さまざまな書く場面
- ・ 取材レポート
- ・ 課題レポート

リンク

- ・ 手紙の書き方やマナー
- ・ 筆、墨、硯、紙について知ろう
- ・ 日本建築と「書」
- ・ 書の古典の鑑賞

「書く力」がぐっと身につく動画



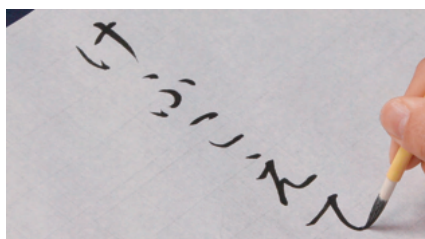
毛筆の運筆動画

教科書に掲載されている全毛筆教材を収録。字形や筆使いを確認できます。



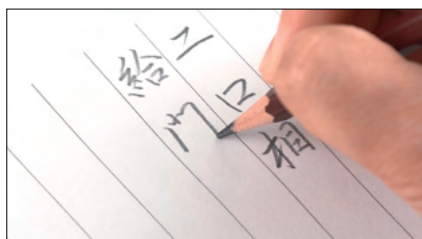
硬筆の運筆動画

行書の連続や変化など、ふだん見えにくい鉛筆で書く過程がよくわかります。



小筆の運筆動画

「いろは歌」の運筆動画を、楷書・行書ともに収録。



「行書学習のはじめに」(解説動画)

「なぜ行書を学習するの?」「行書ってなんだろう?」の疑問に応えます。



「まなびリンク+」で、さらに「個別最適な学び」をサポートします。

教科書掲載の「まなびリンク」に加え、先生がたが必要に応じてご利用できる Web コンテンツを提供いたします。

- ① 先生がたが、クラスや生徒の学習状況や実態に応じて、最適なコンテンツを生徒に提示できます。
- ② 教科書の二次元コード「まなびリンク」にプラスして、コンテンツ（ワークシート、プリント集、小テスト、動画、音声データなど）をご活用いただけます。*
- ③ 生徒の「もっと学びたい」という声に応えます。

*これらのコンテンツは
先生専用サイトよりアクセスできます。

コンテンツのサンプルを教科書特設サイトよりご覧いただけます。

*各企画の内容は変更になることがあります。*収録内容は教科によって異なります。

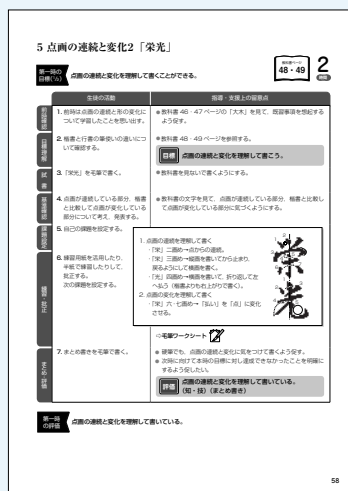


「教師用指導書」 充実のラインアップ

〔紙媒体〕

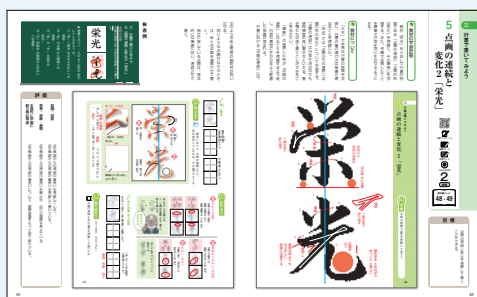
研究編

全時間分の学習指導案や指導の具体的な手だてを扱っています。



朱書編

教科書紙面に書字のポイントや発問例などが書き込んであり、指導項目をすぐに確認できます。



ワークシート編

教科書に掲載されている全毛筆教材と、生徒の課題に合わせた練習用紙を収録しています。



〔働き方改革を実現！「My デジタルシリーズ」〕

令和7年度から新たに、教師用指導書セットで、「デジタル朱書編」などの指導書データ配信版をご利用いただけます。

My デジタルシリーズの特徴

- 1 指導書が自分だけのものに！**
自分専用のID、PWでログイン。マーカー・ふせん・書き込みをして、自分だけの指導書ができます。
- 2 いつでも、どこでも使える！**
専用ビューアのインストール不要。WEBブラウザで閲覧できます。
- 3 どの教科も全学年一緒に見られる！**
全学年の指導書（教育出版発行）を、同一の本棚画面からご使用いただくことができます。





紹介ページはこちら

授 業 を 完 全 サ ポ ー ト

指導者用デジタル教材 学習者用デジタル教材

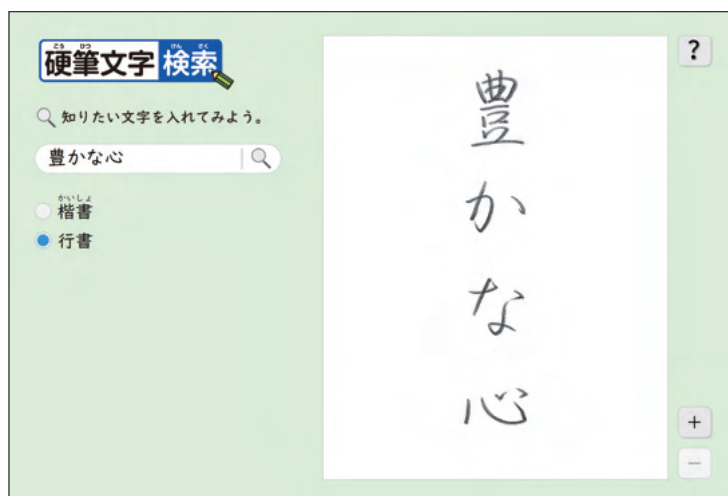
※教師用指導書の一部として販売いたします。

※「指導者用デジタル教材」は、教科書紙面を含みます。

「学習者用デジタル教材」は、教科書紙面を含みません。

生徒一人一人の学びに寄り添ったコンテンツを多数用意しました。

書くことの楽しさを知り、日常生活にすぐ生かしたくなる、そんな授業をサポートします。



硬筆文字検索

小・中学校で学習する漢字（常用漢字）・平仮名・片仮名の硬筆文字を自由に検索することができます。

楷書／行書の切り替えが可能です。

書写の授業だけでなく、日常生活のさまざまな場面で活用できるコンテンツです。

比較ツール



教科書の文字と試し書きの比較や、試し書きとまとめ書きの比較などができます。

ペン機能での書き込みや、保存・印刷も可能です。

生徒の気づきや自己評価を記録し、次の学習へつなげます。

動画



まなびリンクの動画のほかに、各教材のポイントを解説した動画や、穂先の動きを重点的に確かめられる動画、用具の使い方を示した動画などを豊富に収録しています。

※デジタル教科書・デジタル教材は開発中のため、内容は変更となることがあります。



教育出版

学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。

著作者の紹介

監修

長野秀章 東京学芸大学名誉教授

編集・執筆

池田利広 大阪教育大学教授

岡田直樹 京都教育大学教授

荻田哲男 文教大学講師

加藤泰弘 東京学芸大学教授

衣川彰人 愛知教育大学教授

草津祐介 東京学芸大学准教授

鋤持 勉 明海大学客員教授

笹田 哲 神奈川県立保健福祉大学教授

杉山 梓 神奈川県横浜市立深谷中学校教諭

杉山勇人 鎌倉女子大学短期大学部准教授

関根祐介 埼玉県杉戸町立杉戸中学校教頭

染谷由香理 木更津総合高等学校講師

永由徳夫 群馬大学教授

西川竜矢 北海道教育大学准教授

服部一啓 福岡教育大学教授

平野伸子 東京都足立区立大谷田小学校主幹教諭

淵脇貴子 大東文化大学講師

教育出版株式会社

校閲

加藤祐司 東京学芸大学名誉教授

特別支援教育監修

名越斉子 埼玉大学教授

SDGsとESDに関する校閲

手島利夫 元東京都江東区立八名川小学校校長

馬奈木俊介 九州大学主幹教授

人権的配慮に関する校閲

富永吉喜 元京都教育大学教授

編集協力

石井英真 京都大学大学院准教授

活字コラム執筆

木村雅彦／春田ゆかり



新しい教科書の特設サイト

教育出版ウェブサイトからもアクセスできます。



まなびリンク

授業で役立つ動画や音声、資料を活用できる
無料のコンテンツはこちらから。

本社

135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館
TEL 03-5579-6278(代) FAX 03-5579-6444

北海道支社

060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目1 プレスト1・7 2F
TEL 011-231-3445 FAX 011-231-3509

函館営業所

040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング 3F
TEL 0138-51-0886 FAX 0138-31-0198

東北支社

980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F
TEL 022-227-0391 FAX 022-227-0395

中部支社

460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F
TEL 052-262-0821 FAX 052-262-0825

関西支社

541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F
TEL 06-6261-9221 FAX 06-6261-9401

中国支社

730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F
TEL 082-249-6033 FAX 082-249-6040

四国支社

790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F
TEL 089-943-7193 FAX 089-943-7134

九州支社

812-0023 福岡市博多区奈良屋町2-1 博多蔵本太田ビル 4F
TEL 092-282-1150 FAX 092-282-1160

沖縄営業所

901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F
TEL 098-859-1411 FAX 098-859-1411

本資料は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則り、配付を許可されているものです。

教育出版株式会社

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp>

